

令和２年度の地方独立行政法人広島市立病院機構の
業務実績に係る市長による評価案の修正について

８月４日（水）に開催した広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会において、委員から２点の修正を検討するよう意見があったことから、次のとおり修正するものである。

なお、第２期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に係る評価については、特に意見はなかった。

１「長時間労働の是正」について

- ・時間外勤務が 11.6%削減されているが、新型コロナウイルス感染症の患者受入により、現場の業務が煩雑となり、職員が疲弊しているとの声を多く聞いている。
- ・新型コロナウイルス感染症により業務が増加した職場もあれば、患者や手術の減少した職場もあり、忙しい職場へ手伝いに行ったり、新型コロナウイルス感染症病棟の職員をローテーションしたり、業務の平準化に取り組んでいる。そのストレスも多い。
- ・評価コメントにおいて、全体として時間外勤務時間が縮減した結果だけしか書いていないので、新型コロナウイルス感染症の業務負担増加に関する記述を追加してはどうか。

小項目	法人 自己評価	市長による 評価案	小項目評価のコメント等	
			当初案	修正案
(3) ワーク・ライフ・バランスの推進 イ 長時間労働の是正	4	4	時間外勤務時間を前年度から 11.6%縮減しており、年度計画を上回っているため「4」と評価した。	<u>新型コロナウイルス感染症患者の受入による業務負担が増加したが、業務の平準化に取り組み、法人全体としての時間外勤務時間は、前年度より 11.6%縮減しており、年度計画を上回っているため「4」と評価した。</u>

２「中期目標期間中の経常収支の黒字化」について

- ・経常収支の黒字化の評価について、新型コロナウイルス感染症の収入の要因が大きいので、「３」と評価しているが、市立病院機構では、新型コロナウイルス感染症の対応として、トリアージや自宅・ホテル療養者に対する外来などを行っており、その功績は評価すべきである。
- ・新型コロナウイルス感染症の対応の功績としては、「感染症医療の提供」で「５」と高い評価をしている。経常収支の黒字化の評価は「３」のままでいいのではないのか。
- ・一般的に補助金は、支出以上に入っていないものである。今回は、補助金が入ったことで黒字になっており、黒字化を評価しすぎると、財務の専門家や一般的な市民から勘違いを受けることが懸念される。
- ・評価は「３」のままでいいが、評価コメントが簡単に書かれている気がするので、もう少し市立病院機構も努力したことを表現すべきである。

小項目	法人 自己評価	市長による 評価案	小項目評価のコメント等	
			当初案	修正案
(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字化	4	3	契約内容の見直しなどの経費削減に取り組んだものの、経常収支の黒字化においては、新型コロナウイルス感染症の補助金収入が大きかったことを踏まえ「３」と評価した。	<u>毎月の経営会議で各病院の経営指標の現状を報告し、改善策等について協議するとともに、</u> 契約内容の見直しなど経費削減に <u>取り組んでいる中</u> 、経常収支の黒字化においては、新型コロナウイルス感染症の補助金収入が大きかったことを踏まえ「３」と評価した。